

大阪府臨床心理士会  
医療保健部会 主催  
【オンライン開催】

疑問もスッキリ！  
「痛みと認知って関係しているの？」  
「医師との連携のコツは？」

# 慢性疼痛 に対する 認知行動療法

日時

2025年2月9日(日)  
10:00~16:00

開催  
形式

Zoomによるオンライン



講師

細越 寛樹 先生

関西大学社会学部社会学科心理学専攻教授  
臨床心理士・公認心理師  
慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループ委員  
(心理的アプローチ担当代表)

対象

臨床心理士(研修ポイント申請予定)  
公認心理師

費用

大阪府臨床心理士会会員 3000円  
当会非会員臨床心理士 および公認心理師 5000円

2020年の国際疼痛学会で「痛み」の定義が改訂され、2022年のICD-11に「慢性疼痛」が新設されるなど、長く続く痛み(慢性疼痛)を緩和させることは人類共通の課題であるという認識が広がっています。また、慢性疼痛に心理社会的な要因がからむと治療が難航しやすいと言われており、心理的なアプローチにも注目が集まっています。

今回の研修では、慢性疼痛ガイドラインで推奨されている認知行動療法について、そのプログラムの開発にご尽力されている細越寛樹先生をお招きして、慢性疼痛について心理職が知っておくべき知識を学んだり、デモ映像を通して認知行動療法プログラムの実践を体験したりする機会にしたいと考えています。

申し込み方法：イベントペイからお申込みいただきます。(手数料220円がかかります)  
下記URLまたは二次元コードよりお申込みください。

[https://eventpay.jp/event\\_info/?shop\\_code=0024270865075630&EventCode=7199936852](https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=0024270865075630&EventCode=7199936852)

申込期日：2025年1月26日

問い合わせ先：osccpiyouhoken20250209@gmail.com

